

令和4年度事業計画書

事業計画書(案)

1. 講座事業

(1) 春秋記念講座

◆春季講座(第142回)・・・Zoomによる完全オンライン開催。当日の内容は録画し、後日配信する。

総合テーマ:「仏教が塗りかえる古代東アジア史像」

◇日時:2022年6月25日(土)13:30~16:45

【第一部】13:30~15:00 テーマ:「隋~初唐の仏教と皇帝」 講師:河上麻由子先生(大阪大学准教授)

【第二部】15:15~16:45 テーマ:「隋~初唐の長安における仏教造像」 講師:藤岡穰先生(大阪大学教授)

◇受講料:2,500円(賛助会員無料)。資料郵送を希望の場合は別途500円。

◆秋季講座(第143回)・・・Zoomによる事前録画を行い、期間限定で受講申込み者に公開する。

総合テーマ:「足利学校と懐徳堂」

【講演】

テーマ:「江戸時代の足利学校」 講師:大澤伸啓先生(史跡足利学校学芸員)

テーマ:「懐徳堂の講義と蔵書」 講師:湯浅邦弘先生(大阪大学教授)

【対談】

「足利学校と懐徳堂」大澤伸啓先生・湯浅邦弘先生

受講料:2,500円(賛助会員無料)。資料郵送を希望の場合は別途500円。

(2) 古典講座

- ・全コースZoomによるオンライン開催とする。
- ・1コース8回(前期4月~7月、後期9月~12月)、講義時間は1回90分。
- ・受講料は1コース12,000円(前期6,000円、後期6,000円)。資料郵送を希望の場合は別途4,000円(半期ごとの支払い可能。複数講座申込みの場合も一律)。会員価格のみの設定とし、受講には入会が必須とする。
- ・受講人数は1コース45~60名を想定。
- ・使用する資料についてはZoom共有画面にて表示。手元に紙資料が欲しい受講生は、事前に各自でダウンロード、印刷を願う。
- ・BコースおよびCコースはリレー講座。

コース	コース名・講師名	回数・時間・年数
A	続『平家物語』の名場面を能で読む 中尾薫先生(大阪大学准教授)	全期8回 10:30~12:00 2年目
B	漢文入門 4月・5月:「乱世に学ぶ智慧—『孫子』と『戦国策』—」 清水洋子先生(福山大学准教授) 6月・7月:「人間の本性とは—『孟子』と『荀子』—」 竹田健二先生(島根大学教授) 9月・10月:「道家から見た孔子—『老子』『列子』『荘子』—」 藤居岳人先生(阿南工業高等専門学校教授) 11月・12月:「唐宋の詩—蘇軾・陸游を基点として—」	全期8回 13:30~15:00 1年目

	浅見洋二先生（大阪大学教授）	
C	『日本書紀』継体紀を読む 4月：「継体天皇の即位事情」 若井敏明先生（関西大学等非常勤講師） 5月：「今城塚古墳出現までの道のり」 上田直弥先生（大阪大学埋蔵文化財調査室助教） 6月：「継体朝の外交政策を探る」 市大樹先生（大阪大学教授） 7月：「武寧王陵と朝鮮半島の前方後円墳」 高橋照彦先生（大阪大学教授） 9月：「磐井の乱とその影響」（市先生） 10月：「畿内と九州の古墳文化」（上田先生） 11月：「継体陵・今城塚古墳とその関連古墳」（高橋先生） 12月：「継体天皇の死とその後」（若井先生）	全期8回 18:00～19:30 2年目
D	『愚管抄』を読む—武家政権の歴史：保元の乱から承久の乱まで— 川合康先生（大阪大学教授）	全期8回 13:30～15:00 1年目※再開（H27～H30年）

(3) 法人講座（第5回）（未定）

(4) アーカイブ講座（第16回）（未定）

2. 刊行事業

- (1) 雑誌『懐徳』91号（2023年1月31日）刊行
- (2) 会報「記念会だより」No. 121（2022年4月）No. 122（2022年9月）No. 123（2023年2月）刊行

3. 調査事業

- (1) 西村天囚関係資料の調査
- (2) 懐徳堂創設300周年事業に向けての懐徳堂文庫貴重資料の調査

4. 広報事業

- (1) ホームページの更新
- (2) Twitter・Facebookの更新

5. 研究助成事業（第33回）

令和4年6月3日（金）募集締切（必着）、同7月決定

6. 懐徳忌（第37回）【開催中止】新型コロナウイルス感染症防止のため、令和4年度は実施せず。

例年4月の第2土曜日頃に誓願寺にて開催していたが、令和4年度は一般の方を募っての法要、堂内での講話は密になるため中止とする。

コロナの状況をみて、関係者のみ（記念会幹事1～3名と事務局）訪問し、お墓参りをする。

7. その他

【共催事業】（未定）

【講師派遣事業】(未定)

以上

